

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	ベトナム定期航空路線誘致促進事業費							予算主管課	観光国際課
		事業概要	ベトナム線開設に向け、同国での観光プロモーションや県内視察ツアーを実施するとともに、チャーター便の運航を支援するなど、インバウンド・アウトバウンド双方で、認知度向上と需要開拓に取り組む。							始期	R5
										終期	R6
	K P I	松山空港チャーター便の年間利用者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
		現状値	335 人	目標値	1506 人	目標値	人	目標値	人	目標値	人
				実績値	623 人	実績値	人	実績値	人	実績値	人
				達成率	41.37 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	71,357 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	53,908 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>インバウンドチャーター便を3回、イン・アウト双方向チャーター便を3回実施する計画としていたものの、旅行会社との調整の結果、イン・アウト双方向チャーター便2回の運航に留まったため、未達成となった。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度の目標達成率は低調であったものの、本事業はベトナムとの定期航空路線開設に向け、現地での本県の認知度向上やチャーター便の運航実績を積み重ねるために実施するものであることから、成果向上に向けて引き続き取り組む。</p>								
2	当初	事項	旅券事務市町権限移譲事務費							予算主管課	観光国際課
		事業概要	市町に権限移譲している旅券事務について、市町旅券窓口の機器の保守委託料や人件費等の経費を交付するとともに、市町指導等を行い移譲事務の円滑な推進を図る。							始期	H20
										終期	—
	K P I	市町窓口における旅券発給申請件数等（県民千人当たり）									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	6.7 件/千人	目標値	14 件/千人	目標値	16 件/千人	目標値	18 件/千人	目標値	20 件/千人
				実績値	17.7 件/千人	実績値	件/千人	実績値	件/千人	実績値	件/千人
				達成率	126.43 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	18,671 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	18,070 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は想定を上回る結果となっていることに加え、6年度末にはオンライン申請の対象拡大（現状：有効期間1年未満での更新のみ⇒特別な事情を除く全ての申請）が行われることを踏まえると、KPIは目標を達成する可能性が高いことから、7年度において事業制度の見直しは想定しておらず、現行制度に基づき積算した7年度予算とする。</p>								

3 9月 補正 後	事項	松山空港国際化支援事業費							予算主管課	観光国際課	
	事業概要	松山空港国際線を維持するため、松山空港ビル（株）が航空会社に対して行った空港施設使用料等の助成相当額を補助する。							始期	H10	
									終期	-	
	K P I	着陸料等に起因して減便や運休となった国際線の便数									
		KPI種別	下がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.9	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	0 便	目標値	0 便	目標値	0 便	目標値	0 便	目標値	0 便
				実績値	0 便	実績値	便	実績値	便	実績値	便
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	92,440 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	75,888 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定どおりの成果が出ており、6年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度の予算の見直しは想定していない。								

4 当初	事項	松山空港国際線利用促進事業費							予算主管課	観光国際課	
	事業概要	松山空港国際線の早期の運航再開と再開後の安定運航に向け、官民一体となった取組みを展開する。							始期	H3	
									終期	-	
	K P I	松山空港に就航する国際線の増便数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.10	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	5 便	目標値	7 便	目標値	11 便	目標値	12 便	目標値	12 便
				実績値	12 便	実績値	便	実績値	便	実績値	便
				達成率	171.43 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	1,387 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	1,387 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定を上回る成果が出ており、6年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度の予算の見直しは想定していない。								

5 9月 補正 後	事項	松山空港国際線需要回復促進事業費							予算主管課	観光国際課	
	事業概要	上海線、台北線の早期再開に向け、路線の認知度維持や再開への機運醸成を図るとともに、ソウル線、台北線の再開後の安定運航に向け、インバウンド・アウトバウンド双方で各種の利用促進やプロモーションを実施し、需要の回復を図る。							始期	R4	
									終期	R7	
	K P I	松山空港に就航する国際線各路線の年間利用者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.6	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	2 万人	目標値	10.5 万人	目標値	18.4 万人	目標値	19.2 万人	目標値	19.2 万人
				実績値	12.6 万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人
				達成率	120.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	311,573 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		297,557 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定を上回る成果が出ており、6年度以降も本事業を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度の予算の見直しは想定していない。								

6 12月 補正 (追 加)	事項	松山空港地上支援業務人材等確保支援事業費							予算主管課	観光国際課	
	事業概要	松山空港の国際定期航空路線の再開や増便が進む中、航空機の運航に欠かせない地上支援業務（グランドハンドリング）等の担い手が不足し、再開や増便の障壁となっていることから、松山空港関連事業者の人材確保を支援し、受入体制の整備につなげる。							始期	R5	
									終期	R8	
	K P I	松山空港関連事業者採用支援のための基盤（合同採用HP,魅力発信動画制作）整備率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.11時点	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	0 %	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%	目標値	%
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	2,100 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		2,100 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 松山空港関連事業者採用支援のための情報発信基盤の整備については令和5年度事業により完了。本KPIについては、令和5年度のみ経過指標であることから、次年度以降については、別途設定しているKPI「松山空港関連事業者における採用充足率」により評価を行う。なお、令和6年度以降は整備した基盤を活用し、情報発信を行うほか、県内外の若年者に向け採用イベントを実施するなど事業内容を拡充し、松山空港関連事業者の人材確保支援に向けて引き続き取り組む。								

7	12月 補正 (追加)	事項	松山空港地上支援業務人材等確保支援事業費							予算主管課	観光国際課
	事業概要	松山空港の国際定期航空路線の再開や増便が進む中、航空機の運航に欠かせない地上支援業務（グランドハンドリング）等の担い手が不足し、再開や増便の障壁となっていることから、松山空港関連事業者の人材確保を支援し、受入体制の整備につなげる。							始期		
									終期		
	K P I	松山空港関連事業者における採用充足率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.10時点	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値		目標値	%	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %
			76 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	- %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）								
			総括（事業最終年度の場合、要記入。）								
見直し方向性		改善	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和6年度以降は、令和5年度に整備した情報発信基盤を活用し、松山空港関連事業者の採用情報等を発信するほか、県内外の若年者に向け採用イベントを実施するなど事業内容を拡充し、松山空港関連事業者の人材確保支援に向けて引き続き取り組む。								

8	2月 補正	事項	松山空港地上支援業務人材等確保支援事業費							予算主管課	観光国際課
	事業概要	松山空港関連事業者の人材確保を支援するため、松山空港ビル（株）が実施する職場環境の改善に要する経費に対して負担する。							始期	R5	
									終期	R6	
	K P I	松山空港関連事業者採用支援のための職場環境（トイレ）整備率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R6.2時点	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値		目標値	0 %	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%
			0 %	実績値	0 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	2,100 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			2,100 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析		評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 国の補助を受けて行う本事業について、国の補助交付申請受付が5月以降となることから、事業着手できていない。全額令和6年度に繰り越し。								
			総括（事業最終年度の場合、要記入。）								
見直し方向性		廃止	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和6年度、当該事業が完了するため。								

9 当初	事項	松山空港魅力向上支援事業費								予算主管課	観光国際課	
	事業概要	令和6年春の完成を目指し第1段階拡張工事を実施している松山空港国際線旅客ビルの安全性・利便性の向上を図るため、施設整備に要する経費を補助する。								始期	R4	
										終期	R6	
	K P I	松山空港満足度										
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度		
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度	
		現状値	-	点	目標値	4 点	目標値	4 点	目標値	点	目標値	点
					実績値	4 点	実績値	点	実績値	点	実績値	点
					達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	3,093 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額	1,631 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円				
5 年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）										
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）										
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 令和5年度の松山空港利用者数はコロナ禍前の約9割まで回復しており、今後も更なる利用者増が見込まれることから、利用者の利便性向上につながる本事業による施設整備はKPI向上が期待できる。									

10 9月補正(追加)	事項	釜山線利用促進事業費								予算主管課	観光国際課
	事業概要	釜山線の新規就航に合わせ、インバウンド・アウトバウンド双方で、旅行会社等への支援やプロモーション等を実施し、路線認知度の向上や利用促進に取り組むとともに、グランドハンドリング経費の一部を支援することで、路線の安定運航を図る。								始期	R5
										終期	-
	K P I	松山－釜山線の年間利用者数									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R5.6	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	0 万人	目標値	2.2 万人	目標値	5.5 万人	目標値	5.5 万人	目標値	5.5 万人
				実績値	2.2 万人	実績値	万人	実績値	万人	実績値	万人
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト	最終現計予算額	103,995 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額	97,158 千円		決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5 年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定を上回る成果が出ており、6年度以降も本事業での実施内容を継続することでKPI目標を達成すると考えられることから、事業内容の見直しは想定していない。								